

新基地建設反対名護共同センターニュース

名護民商 過去最高現勢で第36回総会開く



来賓の屋良
衆院議員



仲本名護民商
会長



屋良朝博衆院議員（沖縄3区選出）が来賓挨拶で「次の総選挙で、菅政権を倒し野党連合政権を実現しましょう。合言葉は政権交代です」と力強く訴えました。東恩納琢磨、吉井俊平両名護市議も挨拶しました。

「合言葉は政権交代！」屋良衆院議員

へり基地反対協の中核団体である名護民主商工会は23日、同民商会館で第36回定期総会を代議員39人の参加で開催しました。同民商はコロナ禍の中で持続化給付金など業者の要求運動の中で会員拡大を続け、8月に過去最高の670人を突破した後も会員を増やし、あと4人で700人となる中で総会を迎えました。総会では、比嘉末美事務局長が提案した「コロナ被害に対する中小業者支援策継続や消費税減税、インボイスの中止など業者要求と共に、辺野古新基地建設反対、憲法9条改悪阻止などの要求実現にとりくみ、次期総会まで750人の強大な民商建設」の方針を採択。仲本興真会長、比嘉事務局長など新役員を選出しました。

コロナ禍の中小業者支援継続を！ 辺野古新基地建設反対！ 750人の強大な民商建設へ！

東京 足立区党議員団 辺野古ゲート前や安和・塩川港で抗議

東京・足立区の共産党区議団の額賀和子団長ら5人が21日、辺野古新基地建設現場の抗議行動に参加しました。辺野古テント村での交流では、自民党区議の性的少数者への差別発言を抗議で撤回させた経過を報告し、大きな拍手を浴びました。「辺野古新基地建設をストップさせるためにも総選挙で野党共闘の勝利で政権交代させたい」と決意を表明。この後ゲート前で座り込みにも参加しました。



共同センターで

強風のため予定した抗議船には乗れませんでした。大浦湾で瀬嵩の浜から新基地建設現場や「大浦湾の生き物展」を視察しました。その後、名護湾の安和港、塩川港で抗議行動に参加しました。途中、名護共同センターに立ち寄りカンパを手渡しました。



テント村の交流で全員が発言



ゲート前で座り込み



塩川港でダンプに抗議

マグマ爆発の10・21県民大集会から25年

1995年以降、刑法犯の摘発件数は減少傾向ですが、凶悪犯は03、08年に7件と多発、毎年のように発生しています。しかし、日本平和委員会の集計によると米軍関係者の刑法犯の起訴率は15〜20%で日本人のそれと比べ半分以下となっており、背景に「重要事件以外は原則として第1次裁判権を行使しない」という日米合同委員会の取り決めがある」と日米地位協定の身柄引き渡し規定も影響していると指摘しています。

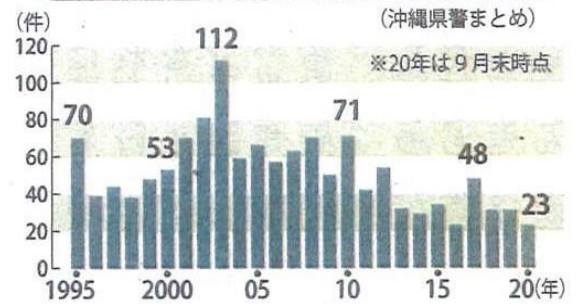
第1次裁判権行使せず低い起訴率
1995年以降、刑法犯の摘発件数は減少傾向ですが、凶悪犯は03、08年に7件と多発、毎年のように発生しています。しかし、日本平和委員会の集計によると米軍関係者の刑法犯の起訴率は15〜20%で日本人のそれと比べ半分以下となっており、背景に「重要事件以外は原則として第1次裁判権を行使しない」という日米合同委員会の取り決めがある」と日米地位協定の身柄引き渡し規定も影響していると指摘しています。

1995年9月に起きた米兵3人による少女暴行事件に抗議する同年10月21日の県民大会から25年が経過しました。同大会では8万5000人もが結集、怒りのマグマが爆発。日米両政府によるSACO合意と辺野古新基地建設問題発生発端となりました。

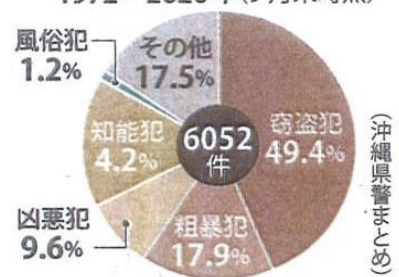
復帰後 米軍の刑法犯6052件 うち殺人など凶悪犯581件

その後も、米軍人、軍属とその家族による刑法犯摘発件数は後を絶ちません。1972年の日本復帰以降、米軍関係者の刑法犯摘発件数は6052件（県警まとめ今年9月末現在）。そのうち殺人や強盗、強姦、放火など凶悪犯は581件（9.6%）となっています。

米軍関係者による刑法犯摘発件数



米軍関係者の摘発件数の内訳



この記事とグラフは沖縄タイムス（10月21日付）から